

# 一般社団法人日本真空学会 平成25年度 総会のお知らせ

平成25年度総会を下記により開催します。万障お繰り合わせのうえご出席下さい。

ご欠席の場合は同封の委任状にご署名のうえ、事務局までお送り下さい。

## 記

日 時 平成25年3月13日（水）午後1時30分から  
場 所 機械振興会館 地下3階 研修1号室（東京都港区芝公園3丁目5番8号）  
一般社団法人日本真空学会 電話 03-3431-4395

## 議 題

1. 第1議案 平成24年度事業報告の件
2. 第2議案 平成24年度決算報告の件
3. 第3議案 平成25年度事業計画（案）の件
4. 第4議案 平成25年度予算（案）の件
5. 第5議案 役員改選の件
6. その他

以上

## 第1議案

### 平成24年度事業報告

自 平成24年1月1日  
至 平成24年12月31日

#### (1) 会員異動

##### 1) 個人会員

23. 12. 31 現在 711名（うち学生会員109名）  
入 会 65名（ ” 44名）  
退 会 74名（ ” 25名）  
24. 12. 31 現在 702名（うち学生会員128名）

##### 2) 法人会員

口 数	23.12.31 現在		24.12.31 現在			
	会員数	口数	会員数	年間会員 数増減	口数	年間口 数増減
9	1	9	1	0	9	0
8	0	0	0	0	0	0
7	1	7	0	-1	0	-7
6	3	18	2	-1	12	-6
5	5	25	5	{ +2 -2	25	0
4	0	0	0	0	0	0
3	3	9	4	{ +3 -2	12	+3
2	1	2	2	+1	4	+2
1	120	120	111	{ +3 -12	111	-9
計	134	190	125	-9	173	-17

##### 3) 特別会員

23. 12. 31 現在 73口  
入 会 2口  
退 会 6口  
24. 12. 31 現在 69口

(2) 総 会 1回（2月28日開催、名称を「一般社団法人日本真空学会」に変更）

#### (3) 理事会等

- 理事会 4回
- 協議員会 1回（2013年1月17日に開催）
- 日本真空工業会理事会へ派遣 2回

#### (4) 委員会

- 事業計画委員会 4回
- 財務委員会 2回
- 教育委員会 6回
- 編集委員会 6回
- 講演・研究会企画委員会 6回
- 産学連携委員会 6回
- 規格・標準委員会 5回
- 広報委員会 0回（メールにて随時審議）
- 真空技術者資格認定委員会（日本真空工業会と合同）3回

#### (5) 部 会

- スパッタリングおよびプラズマプロセス技術部会（幹事会） 5回
- ISSP 国際会議実行委員会 5回
- 機能薄膜部会 2回

#### (6) 会議等

- 表彰審査会 1回
- 真空夏季大学演習担当講師会議 2回
- 規格標準合同検討委員会（日本真空工業会と合同）5回
- ISO 検討ワーキング（日本真空工業会と合同） 1回
- JIS 原案作成委員会 7回
- ISO 総会派遣（アメリカ フロリダ州タンパ） 1回
- 第53回真空に関する連合講演会 実行委員会 2回
- 第54回真空に関する連合講演会 実行委員会 3回
- 第36回真空展 VACUUM 2012ワーキング 3回

• IUVSTA 理事会 (ECM) へ派遣 2 回

(7) 事業

1) 機関誌「Journal of the Vacuum Society of Japan」12 回発行

• 小特集

1 号「東日本大震災の影響—つくば地区を中心として—」

2 号「低エミッタンス電子銃」

3 号「第52回真空に関する連合講演会プロシーディングス(1)」

4 号「第52回真空に関する連合講演会プロシーディングス(2)」

5 号「ナノ磁性体の研究最前線」

6 号「日本真空協会 50 年史」

7 号「ナノギャップエレクトロニクス」

8 号「微量物質・微量濃度の計測技術」

9 号「東日本大震災の影響 (その 2) —東北地区を中心として—」

9 号「VACUUM2012—真空展」

11 号「溶接・接合技術の展望」

12 号「太陽電池における開発動向と将来展望」

2) 第53回真空に関する連合講演会：11月14日～16日 (甲南大学ポートアイランドキャンパス)

参加者数242名、講演数169件 (内訳授賞記念講演 4 件、基調講演 2 件、シンポジウム講演 4 件、特別講演 9 件、一般講演 150 件 = 口頭 62 件 + ポスター88件)

展示会出展企業数 18社 19小間

企業プレゼンテーション 8 件

優秀ポスター賞 2 件

第 3 回真空・表面科学若手勉強会 29 名参加

産学連携委員会第261回例会「有機 EL の科学と実用化技術」16 名参加

スクールコース「超高真空システムの試作」11 名参加

3) 第52回真空夏季大学

• 9 月 4 日～7 日 ヤマハリリゾートつま恋 86 名参加

• 9 月 7 日 真空応用技術講座 (ヤマハリリゾートつま恋) 27 名参加

「薄膜の基本技術」13 名参加

「プラズマプロセッシングの基礎」14 名参加

4) 第48回真空技術基礎講習会

• 5 月 22 日～25 日 大阪府立産業技術総合研究所 52 名参加

5) 真空技術者資格認定試験：(第10回) 9 月 29 日

東京：機械振興会館、大阪：大阪科学技術センター  
受験者数 1 級 106 名、2 級 250 名

合格者数 1 級 24 名、2 級 124 名

主任技術者認定 12 名

6) 表彰：表彰式 11 月 14 日 (甲南大学ポートアイランドキャンパス)

• 第37回熊谷記念真空科学論文賞 該当者なし

• 第37回真空技術賞 業績：環境制御型透過電子顕微鏡の開発とその応用

受賞者：矢口紀恵、長久保康平、松本弘昭、柿林博司、上野武夫

• 第21回真空進歩賞 業績：Ag(111)表面上の水素分子のオルソ・パラ転換におけるファン・デル・ワールス力の影響

受賞者：國貞雄治

• 第21回真空進歩賞 業績：Formation of WO<sub>3</sub> Reduction Coloring Thin Film Using a Combination Sputtering Method Featuring Radio-Frequency Oxygen Plasma Irradiation

受賞者：野口大輔

• 第 1 回真空会誌賞 業績：物理的蒸着法による薄膜のナノ形態制御

受賞者：鈴木基史

7) 第34回真空展 VACUUM 2012 10 月 17 日～19 日 日本真空工業会と共催

(東京ビッグサイト 東 2 ホール)  
開催規模：89 社・団体 183 小間、来場者数：12,158 名

日本真空学会企画事業  
• 大学・公的研究機関における真空科学・技術・応用の最先端研究紹介 27 件

• 真空体感コーナー (東京大学生産技術研究所 福谷研究室)

• 10 月 17 日 真空トピックス「スパッタ・プラズマを利用した先端技術とその基礎」73 名参加

• 10 月 18 日 第13回真空シンポジウム「日本のモノづくりを支える最新の表面分析技術」33 名参加

• 10 月 18 日 学生ツアー 23 名参加

• 10 月 19 日 規格標準報告会「真空と漏れに関する最新情報」約120 名

8) 研究例会

• 2 月 2 日 「表面から少し深い領域を正確に評価するための新技術」

54 名参加 (日本表面科学会と合同) (東京理科大学 森戸記念館)

• 7 月 13 日 「若手が支える真空科学技術」44 名参加 (東京大学生産技術研究所)

• 10 月 17 日 真空展併設 真空トピックス「スパッタ・プラズマを利用した先端技術とその基礎」  
SP 部会と合同 73 名参加

9) 産学連携委員会例会

• 1 月 25 日 20 名参加 (機械振興会館)

1. 偏向帯状ビーム真空計 (3B ゲージ) 開発秘話

2. Near-surface behavior of hydrogen adsorbed in palladium single crystal and nanoparticles

• 3 月 21 日 24 名参加 (機械振興会館)  
1. スパッタプラズマ拘束技術と薄膜特性について

- て
- 2. 無残渣加工可能な吸引型局所プラズマによる半導体デバイス加工とその応用
  - 5月16日 30名参加（機械振興会館）
    1. 微量 Sn 添加によりレアメタル（Cr）を削減した次世代汎用ステンレス鋼の開発
    2. 我が国最大の超高真空装置「KAGRA」の建設
  - 6月20日 39名参加（機械振興会館）
    1. 『あるセールスマンの真空物語』を著作して
    2. 表面科学と真空工学の谷間
  - 8月8日 13名参加（見学会：公益財団法人国際超電導産業技術研究センター）
  - 10月18日 33名参加（東京ビッグサイト）機能薄膜部会と合同  
第13回真空シンポジウム「日本のモノづくりを支える最新の表面分析技術」
    1. 表面分析技術と化学産業
    2. 表面分析技術と半導体技術：性能・信頼性向上への寄与
    3. 日本から発信する新しい表面分析技術
    4. モノづくりを支える表面分析技術：表面分析の現状とその課題
  - 11月15日 16名参加（甲南大学ポートアイランドキャンパス）
    1. 大型化する有機 EL 用成膜装置の将来像に関して
    2. 有機 EL および有機太陽電池における分子凝集構造とデバイス特性
  - 12月12日 31名参加（機械振興会館）
    1. 粒子加速器の医療応用
    2. 酸化物固体潤滑剤コーティングの開発
- 10) SP 部会 定例会
- 3月8日「ナノを観る」（機械振興会館）24名参加
  - 5月29日「高密度媒体プラズマの最前線～何ができる？ 何ができない？～」  
（名古屋大学ベンチャービジネ斯拉ボラトリ ベンチャーホール）32名参加  
東海支部と共催
  - 8月2日「広がるコーティング技術」（機械振興会館）33名参加
  - 10月17日 真空トピックス「スパッタ・プラズマを利用した先端技術とその基礎」  
73名参加（研究部会と合同）（東京ビッグサイト）
  - 12月5日「平成24年度技術講習会」10名参加（機械振興会館）
  - 12月6日「第9回技術交流会」32名参加（機械振興会館）
- 11) 機能薄膜部会
- 10月18日 33名参加（東京ビッグサイト）産学連
- 携委員会と合同  
第13回真空シンポジウム「日本のモノづくりを支える最新の表面分析技術」
- 12) 第59回応用物理学関係連合講演会（2012年春季）シンポジウムの実施  
• 3月15日「重力波観測用巨大干渉計の設計と建設」（早稲田大）
- 13) 他学協会・団体等からの依頼  
共催 1回，協賛 47回
- (8) 支部
- 1) 関西支部
- ① 総会 1回
  - ② 役員会 5回
  - ③ 講演会 2回
    - 1月11日 2012年度第1回講演会・見学会「XFEL 施設 SACLA—我が国発信の技術」（理化学研究所 播磨研究所）38名参加  
見学会：X線自由電子レーザー（XFEL）施設 SACLA および SPring-8 30名参加
    - 10月30日 2012年度第2回講演会 日本真空工業会関西支部との合同開催  
「太陽電池開発の経過と今後の方向—薄膜シリコン太陽電池を中心に」  
「CIS 太陽電池開発の現状と今後の展望」（大阪弥生会館）71名参加
  - ④ 研究会 1回
    - 6月9日 平成24年度九州表面・真空研究会 2012  
「放射光を用いた材料の表面・界面の研究」  
「時間分解光電子分光による半導体中の超高速度キャリア動力学」  
（佐賀県立九州シンクロトロン光研究センターセミナー室）68名参加
  - ⑤ 講習会 2回
    - 5月22日～25日 第48回真空技術基礎講習会 日本真空工業会関西支部，大阪府技術協会との合同開催  
（大阪府立産業技術総合研究所）52名参加
    - 8月30日～31日 第4回役に立つ真空技術入門講座  
（大阪電気通信大学）54名参加
  - ⑥ セミナー 2回
    - 7月6日 日本真空学会関西支部&日本表面科学会関西支部合同セミナー2012 日本表面科学会関西支部との合同開催  
「生物に学ぶさまざまな機能—環境に調和した自然界の知恵」  
（神戸大学百年記念館 六甲ホール）151名参加
    - 12月14日 第5回日本真空学会関西支部実用技術セミナー  
「リチウムイオン電池の技術動向と EV 開発」

(島津製作所マルチホール) 83名参加

2) 東海支部

① 設立総会 1回

② 設立準備会

③ 研究会

- 5月29日「高密度媒体プラズマの最前線～何が  
できる? 何ができない?～」

(名古屋大学ベンチャービジネスラボラトリ  
ベンチャーホール) 32名参加

SP 部会と共催

- 11月24日 設立記念研究会

第2議案

平成24年度決算報告

収支計算書

自 平成24年1月1日

至 平成24年12月31日

(単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	4,075,347	管理費	16,557,204
会費収入	14,810,880	運営費	36,142,974
事業収入	36,793,712	予備費	145,890
雑収入	234,069	退職給付引当	770,000
寄付金収入	1,967,692	資産支出	
繰入金収入	0	積立金繰入	0
		次期繰越	4,265,632
計	57,881,700	計	57,881,700

貸借対照表

平成24年12月31日 現在

(単位:円)

科目	金額		増減
	H.23.12.31	H.24.12.31	

[借方の部]

現金・預金	44,816,054	47,028,184	2,212,130
現金	—	(92,153)	(92,153)
普通預金	(19,299,998)	(46,936,031)	(27,728,186)
退職準備預金	(2,682,288)	( )	(2,682,288)
特別積立預金	(7,257,217)	( )	(7,257,217)
国際会議勘定預金	(15,576,551)	( )	(15,576,551)
未収金	2,540,764	1,673,700	△ 867,064
敷金	2,247,800	2,247,800	0
前払金		1,165,185	1,165,185
仮払金	35,650	0	△ 35,650
退職給付引当資産		1,540,000	1,540,000
合計	49,640,268	53,654,869	4,014,601

[貸方の部]

未払金	773,397	1,216,675	443,278
預り金	4,849,270	7,460,308	2,611,038
仮受金		0	0
退職引当金	770,000	1,540,000	770,000
記念事業引当金	2,212,087		△ 2,212,087
基金	8,130,839	39,172,254	31,041,415
特別積立金 (夏季大学等)	13,252,777		△ 13,252,777
国際会議勘定積立金	15,576,551		△ 15,576,551
次期繰越金	4,075,347	4,265,632	190,285
合計	49,640,268	53,654,869	4,014,601

※記念事業引当金, 特別積立金(夏季大学等), 国際会議勘定積立金については平成24年度において基金に振り替えております。

予算・決算対照表

[支出の部]

(単位：円)

[収入の部]

(単位：円)

科 目	H24年度予算	H24.1.1~ H24.12.31現在	予算残
前期より繰越	4,075,347	4,075,347	0
会 費 収 入	14,720,000	14,810,880	△ 90,880
個人会員会費	5,850,000	5,287,000	563,000
学生会員会費	120,000	159,500	△ 39,500
法人会員会費	7,900,000	8,550,000	△ 650,000
特別会員会費	800,000	784,380	15,620
法人会員入会金	50,000	30,000	20,000
事 業 収 入	40,391,000	36,793,712	3,597,288
研究例会参加費	150,000	106,000	44,000
研修会(夏季大 学)参加費	10,500,000	7,232,000	3,268,000
真空応用技術 講座参加費	500,000	417,000	83,000
広 告 費	13,000,000	12,744,900	255,100
連 合 講 演 会 参 加 費 等	3,000,000	2,997,000	3,000
関西支部事業収入	700,000	770,320	△ 70,320
SP部会会費収入	2,940,000	1,946,000	994,000
SP部会事業収入	601,000	184,000	417,000
真 空 技 術 者 認 定 試 験	3,301,000	4,350,000	△1,049,000
関西基礎講習会	2,239,000	2,929,000	△ 690,000
教 育 委 員 会 講 習 会 参 加 費		40,000	△ 40,000
会 誌 収 入	3,460,000	3,049,492	410,508
購 読 料	( 810,000)	( 679,056)	( 130,944)
別 刷 代	( 2,000,000)	( 1,817,600)	( 182,400)
冊 子 代	( 200,000)	( 339,096)	(△ 139,096)
投 稿 料	( 450,000)	( 213,740)	( 236,260)
東海支部事業収入		28,000	△ 28,000
雑 収 入	332,000	234,069	97,931
受 取 利 息	2,000	11,839	△9,839
規格・標準委員会 ISO会議派遣費	250,000	0	250,000
雑 収 入	80,000	222,230	△ 142,230
寄 付 金 収 入		1,967,692	△1,967,692
繰 入 金 収 入	0	0	0
今 期 計	55,443,000	53,806,353	1,636,647
合 計 (前期繰越+今期計)	59,518,347	57,881,700	1,636,647

科 目	H24年度予算	H24.1.1~ H24.12.31現在	予算残
管 理 費	16,680,000	16,557,204	122,796
給 与	6,550,000	7,056,867	△ 506,867
賞 与		460,000	
退職給与引当金・ 雇用保険掛金	770,000	0	770,000
通 勤 費	190,000	325,420	△ 135,420
福 利 厚 生 費	1,440,000	1,550,645	△ 110,645
事 務 所 費	3,000,000	3,004,007	△ 4,007
旅 費 交 通 費	100,000	121,431	△ 21,431
通 信 費	500,000	416,202	83,798
事 務 消 耗 品 費	10,000	0	10,000
事 務 雑 費	1,100,000	996,705	103,295
事務機器リース費	1,080,000	960,250	119,750
総 会 費	340,000	216,407	123,593
理 事 会 費	1,600,000	1,449,270	150,730
運 営 費	40,943,700	36,142,974	4,800,726
委員会運営費	6,326,500	6,125,924	200,576
事業計画委員会	( 425,000)	( 278,909)	( 146,091)
財務委員会	( 105,000)	( 16,208)	( 88,792)
教育委員会	( 300,000)	( 439,345)	(△ 139,345)
編集委員会	( 420,000)	( 427,410)	(△ 7,410)
講演・研究会 企画委員会	( 270,500)	( 233,512)	( 36,988)
産学連携委員会	( 577,000)	( 655,267)	(△ 78,267)
規格・標準委員会	( 323,000)	( 67,538)	255,462
広報委員会	( 200,000)	( 0)	200,000
国際委員会	( 405,000)	( 215,709)	189,291
真空技術者資 格認定委員会	( 2,051,000)	( 2,692,026)	△ 641,026
資格試験 事務経費	( 1,250,000)	( 1,100,000)	150,000
関 西 支 部	1,400,000	1,300,141	99,859
東 海 支 部	300,000	104,757	195,243
S P 部 会	3,331,000	3,227,259	103,741
定例会・幹 事会運営費	( 2,581,000)	( 2,463,630)	117,370
技術講習会	( 250,000)	( 263,629)	(△ 13,629)
事務経費	( 500,000)	( 500,000)	( 0)
機能薄膜部会	300,000	94,087	( 205,913)
I S S P 運 営 費	1,000,000	877,966	122,034
50周年編纂資料費	500,000	0	500,000
研究例会運営費	476,200	133,556	342,644
連合講演会運営費	1,950,000	1,804,617	145,383
研修会(夏季大 学)運 営 費	8,300,000	6,422,026	1,877,974
研修会(夏季大 学)事 務 経 費	1,500,000	1,300,000	200,000
真空応用技術 講座運 営 費	500,000	0	500,000
関西基礎講習会	2,239,000	2,892,828	△ 653,828
表彰関係費	370,000	344,929	25,071

科 目	H24年度予算	H24.1.1～ H24.12.31現在	予算残
会誌発行費	9,251,000	8,770,786	480,214
印刷費	( 7,800,000)	( 7,357,311)	442,689
送料	( 1,451,000)	( 1,413,475)	37,525
編集・広報 業務委託費	2,700,000	2,585,038	114,962
真空展ワーキング	200,000	37,990	162,010
管理費(租税公課)	300,000	121,070	178,930
予 備 費	300,000	145,890	154,110
退職給付引当 資産支出		770,000	△ 770,000
積立金繰入	0	0	0
計	57,923,700	53,616,068	4,307,632
次期繰越	1,594,647	4,265,632	—
合計	59,518,347	57,881,700	1,636,647

以上の通り報告いたします。

平成25年3月13日

会 長 尾 浦 憲治郎

監査の結果、適正に処理されていることを認めました。

平成25年3月13日

監 事 富 江 崇

監 事 村 岡 眞 史

### 第3議案

#### 平成25年度 事業計画(案)

- (1) 総会 1回
- (2) 理事会等
  - 理事会 4回
  - 協議員会 1回
  - 日本真空工業会理事会へ派遣 5回
- (3) 委員会
  - 事業計画委員会 4回
  - 財務委員会 4回
  - 教育委員会 6回
  - 編集委員会 6回
  - 講演・研究会企画委員会 6回
  - 産学連携委員会 6回
  - 規格・標準委員会 6回
  - 広報委員会 4回
  - 国際委員会 2回
  - 真空技術者資格認定委員会 3回(日本真空工業会と合同)
  - 表彰審査会 2回
- (4) 部会等
  - スパッタリングおよびプラズマプロセス技術部会 5回
  - ISSP2013実行委員会 4回
  - 機能薄膜部会 3回
- (5) 会議等
  - 表彰審査会 2回
  - 真空夏季大学演習担当講師会議 2回
  - 規格標準合同検討委員会(日本真空工業会と合同) 6回
  - ISO関連委員会 3回
  - JIS関連委員会 6回
  - ISO総会派遣 1回
  - 第54回真空に関する連合講演会 実行委員会 3回
  - 第35回真空展 VACUUM 2013 ワーキング 5回
  - 法人会員懇談会 1回
  - IUVSTA 総会(GM)派遣 1回
- (6) 事業
  - 1) 機関誌「Journal of the Vacuum Society of Japan」発行12回
  - 2) 第54回真空に関する連合講演会 11月26日～28日(日本表面科学会と合同)(つくば国際会議場)
  - 3) 第53回真空夏季大学 9月3日～6日(ヤマハリゾートつま恋)
    - 併設 真空応用技術講座(2講座)
  - 4) 第49回真空技術基礎講習会 5月21～24日(大阪府立産業技術総合研究所)(日本真空工業会関西支部、大阪府技術協会との合同開催)
  - 5) 真空技術者資格認定試験(日本真空工業会と共催)

- 真空主任技術者認定
  - 1級・2級真空技術者 試験日：9月28日  
(東京：機械振興会館，大阪：大阪科学技術センター)
- 6) 表彰・顕彰
- 第38回熊谷記念真空科学論文賞
  - 第38回真空技術賞
  - 第22回真空進歩賞
  - 第2回真空会誌賞
  - 優秀ポスター賞
  - 顕彰(真空の匠・功労会員等)
- 7) 第35回真空展 VACUUM 2013 11月6日～8日  
(東京ビッグサイト)  
(日本真空工業会と共催)  
日本真空学会企画
- 大学・公的研究機関における真空科学・技術・応用の最先端研究紹介
  - 真空体感コーナー
  - 真空トピックス
  - 第14回真空シンポジウム
  - 学生ツアー
- 8) 研究例会 4回(うち1回東京地区以外で開催)
- 9) 産学連携委員会例会 7回(うち見学会 1回)
- 10) 規格標準報告会 1回(日本真空工業会と共催)
- 11) SP部会 定例会 5回(うち技術交流会 1回) 技術講習会 1回
- 12) 機能薄膜部会 研究会 2回
- 13) 2013年第60回春季応用物理学関係連合講演会シンポジウム 1回
- 14) ISSP2013スパッタリングおよびプラズマプロセス国際シンポジウム 7月10～12日  
(京都市リサーチパーク)
- 15) IVC-19 9月9～13日(フランス，パリ)
- 16) 韓国真空学会および日本表面科学会との共同主催シンポジウム
- KVS-VSJ-SSSJ Joint Symposium 2月18～20日  
Pyongchang, Korea  
(韓国真空学会冬期学術講演会に併設)
  - SSSJ-VSJ-KVS Joint Symposium 11月26～28日  
つくば国際会議場  
(真空・表面科学合同講演会に併設)
- (7) 支部
- ① 関西支部
- 総会 1回
  - 役員会 5回
  - 研究会 1回  
研究例会「九州真空・表面研究会」(応用物理学会九州支部，日本表面科学会関西支部との合同開催) 6月
  - 講演会 2回  
2013年度第1回講演会 1月  
2013年度第2回講演会(日本真空工業会関西支部との合同開催) 10月
- 講習会 2回  
第49回真空技術基礎講習会 1回 5月21～24日  
(日本真空工業会関西支部，大阪府技術協会との合同開催)  
第5回役に立つ真空技術入門講座
- セミナー 2回  
日本表面科学会関西支部との合同セミナー 7月  
第6回関西支部実用技術セミナー 12月
- ② 東海支部
- 総会 1回
  - 役員会 3回
  - 研究会 2回

第4議案

平成25年度予算(案)

[収入の部]

科 目	25年度予算案
前期より繰越	4,265,632
会 費 収 入	15,870,000
個人会員会費	5,700,000
学生会員会費	150,000
法人会員会費	9,100,000
特別会員会費	800,000
法人会員入会金	120,000
事 業 収 入	47,575,000
研究例会参加費	225,000
真空夏季大学参加費	9,000,000
真空応用技術講座参加費	500,000
広告費	12,700,000
連合講演会参加費等	3,515,000
関西支部事業収入	680,000
東海支部事業収入	50,000
SP部会会費収入	2,140,000
SP部会事業収入	600,000
機能薄膜部会参加費	50,000
ISSP2013事業収入	7,600,000
真空技術者認定試験	3,800,000
関西基礎講習会	2,815,000
会誌収入	3,900,000
購読料	( 900,000 )
別刷代	( 2,200,000 )
冊子代	( 500,000 )
投稿料	( 300,000 )
雑 収 入	352,000
受取利息	2,000
規格・標準委員会ISO会議派遣費	250,000
雑収入(規格, DVD売上等)	100,000
繰 入 金 収 入	500,000
国際会議勘定より	500,000
合 計	68,562,632

[支出の部]

(単位:円)

科 目	25年度予算案
管 理 費	17,205,000
給 与	7,500,000
退職給与引当金	770,000
通勤費	330,000
福利厚生費	1,560,000
事務所費	3,010,000
旅費交通費	120,000
通信費	450,000
事務消耗品費	5,000
事務雑費	800,000
事務機器リース費	990,000
総会費	220,000
理事会費	1,450,000
運 営 費	47,263,300
委員会運営費	6,522,000
事業計画委員会	( 300,000 )
財務委員会	( 30,000 )
教育委員会	( 300,000 )
編集委員会	( 400,000 )
講演・研究会企画委員会	( 220,000 )
産学連携委員会	( 544,000 )
規格・標準委員会	( 428,000 )
広報委員会	( 100,000 )
国際委員会	( 400,000 )
真空技術者資格認定委員会	( 2,600,000 )
資格試験事務経費	( 1,200,000 )
関西支部	1,390,000
東海支部	350,000
SP部会	3,061,000
定例会・幹事会運営費	( 2,311,000 )
技術講習会	( 250,000 )
事務経費	( 500,000 )
機能薄膜部会	350,000
ISSP2013運営費	7,000,000
ISSP2013事務経費	300,000
研究例会運営費	469,300
連合講演会運営費	3,275,000
真空夏季大学運営費	6,500,000
真空夏季大学事務経費	1,500,000
真空応用技術講座運営費	500,000
関西基礎講習会	2,815,000
表彰関係費	500,000
会誌発行費	8,951,000
印刷費	( 7,500,000 )
送 料	( 1,451,000 )
編集・広報業務委託費	3,000,000
真空展ワーキング	80,000
国際会議派遣費	500,000
管理費(租税公課)	200,000
予 備 費	0
計	64,468,300
次期繰越金	4,094,332
合 計	68,562,632

第5議案

一般社団法人 日本真空学会  
平成25-26年度 役員候補者

会長候補	1	尾浦憲治郎	大阪大学
理事候補	1	秋道 齊	産業技術総合研究所
	2	井上 泰志	千葉工業大学
	3	入江 則裕	入江工研㈱
	4	遠藤 克己	㈱トヤマ
	5	大岩 烈	オミクロン ナノテクノロジー ジャパン㈱
	6	岡野 達雄	放送大学
	7	笠井 秀明	大阪大学
	8	笠岡 一之	㈱大阪真空機器製作所
	9	川上 養一	京都大学
	10	北野 雅裕	北野精機㈱
	11	黒岩 雅英	東京電子㈱
	12	後藤 康仁	京都大学
	13	齋藤 一也	㈱アルバック
	14	齊藤 芳男	高エネルギー加速器研究機構
	15	財満 鎮明	名古屋大学
	16	佐々木正洋	筑波大学
	17	佐藤 弘悦	佐藤真空㈱
	18	杉山 直治	㈱東芝
	19	鈴木 基史	京都大学
	20	関口 敦	キヤノンアネルバ㈱
	21	関口 信一	㈱荏原製作所
	22	早田 康成	㈱日立製作所
	23	高橋 研	東北大学
	24	土岐 和之	サンヨー電子㈱
	25	土佐 正弘	物質・材料研究機構
	26	富江 崇	大亜真空㈱
	27	中野 武雄	成蹊大学
	28	西畑 茂人	神港精機㈱
	29	西村 節志	㈱島津製作所
	30	長谷川修司	東京大学
	31	福谷 克之	東京大学
	32	本田 融	高エネルギー加速器研究機構
	33	間瀬 一彦	高エネルギー加速器研究機構
	34	道園真一郎	高エネルギー加速器研究機構
	35	湯原 浩	㈱シンクロン
	36	吉田 秀樹	㈱テクノポート
監事候補	1	青木 一郎	㈱昭和真空
	2	浦野 智秋	